



受賞報告に訪れた藤本トヨ子さん。

11月16日、厚生労働省（東京都）で開催された「平成29年度調理師関係功労者 厚生労働大臣表彰式」で、角館調理師会の藤本トヨ子さんが調理業務功労者として、厚生労働大臣表彰を受賞しました。

藤本さんは平成3年に調理師免許を取得後、市内ホテルなどの調理場で手腕を発揮。現在は食品衛生指導員として、地域住民の健康づくりや食生活改善を広める活動をしています。藤本さんは「食事の基本は和食。単純な料理ほど難しい。素材を生かし、塩分を控えめにし、出汁やお酢を活用したヘルシーメニューを普及させたい」と話していました。

角館小学校を訪問

タイ王国連携教育機関関係者が視察



授業を視察するタイ王国の関係者の皆さん。

11月29日、秋田県教育庁の秋田の教育資産を活用した海外交流促進事業の一環として、タイ王国連携教育機関関係者23人が角館小学校を訪問し、授業などを視察しました。5校時は3年竹組の高橋ひろみ教育専門監による国語の授業、6校時には4クラスの授業を視察しました。

参加者は授業の様子や、学校内の設備を写真に撮ったり熱心に視察していました。また、生徒たちは参加者を見かけるとタイ語の元気なあいさつで歓迎をしました。視察を終えた参加者からは「楽しく授業をする様子に非常に感心した。先生も生徒も幸せになる秋田県の教育をタイに持って帰って帰って教育の向上につなげられたらと思う」などの声が聞かれました。



最後にちよっぴり早いクリスマスプレゼントを受け取り、皆さんうれしそうにしていました。1月は13日に開催します。

角館菓子工業組合が慰問

角館保育園児お菓子作り

12月5日、角館菓子工業組合（佐々木正昭組合長）が角館保育園を訪問し、クレープケーキ作りを行いました。この慰問活動は20年にわたり開催されており、佐々木組合長は「老人ホームでケーキを作ってお誕生日会を開いたのが始まり。現在は市内の保育園を訪問し、園児たちがお菓子作りに興味を持ちたい、家のお手伝いをしたりしてくれたいいな」と話していました。

園児たちは組合員と一緒に生クリームを搾ったりしながらおいしく食べました。最後にみんなでおいしいクレープを作った。園児たちは「うまくてよかった」「おうちでも作ってみたい」とうれしそうでした。



真剣な面持ちでクレープづくりに挑戦する園児。

藤本トヨ子さん
厚生労働大臣表彰を受賞

新収蔵品展
高井有一展



お祝いのテープカット。左から熊谷教育長、塩野米松氏、中村輝子氏、青柳議長、門脇市長。

12月2日から新潮社記念文学館では、一昨年10月に亡くなられた新潮社記念文学館名誉館長の高井有一先生のご遺族から新しく寄贈された原稿や書籍など約100点を展示する「新収蔵品展高井有一展」が開催されています。展示室内には旧蔵書や愛用品とともに「高井有一書齋」を再現したスペースも新たに設けられました。

初日のオープニングセレモニーでは関係者50人が出席する中、蔵書などを寄贈いただいた夫人の中村輝子さんへ、仙北市長より感謝状が授与されました。セレモニー後に中村さんからお話をお伺いすると、「1人の作家の出発点である角館に、仕事の全てを支えてきた蔵書を収めることができうれしい。高井有一書齋では姿が浮かぶような形で皆さんに見てもらいたい。できてよかった」と述べられました。



門脇市長（右）から中村輝子さん（左）に感謝状が手渡されました。

児童の安全を確保

角館町西長野にバス停車帯が完成

角館町西長野熊堂の国道46号に角館小学校の児童が通学時に利用するスクールバスのバス停車帯がこのほど完成し、登下校時の利用が始まりました。完成したバス停車帯には毎朝7時25分頃にスクールバスが停車、角館小学校の児童14人が乗車しています。

また、周辺の歩道も新設・拡幅され、児童などの歩行者や自転車の通行スペースが確保されるようになりました。スクールバスを利用する児童たちは「歩道がない時は危ないと思ったこともあったけど、新しく歩道ができてよかった」「バスを追い越す車が多くて危なかったけど、なくなってよかった」などと安心した様子でした。

これまでは、バスの乗降は路肩で行われ、児童は歩道のない路肩部を歩行していたことから、児童の安全性の確保やバス停車による一般交通の円滑化が求められていました。



登校時にスクールバスを利用する児童たち。

仙北市で日本文化学ぶ

台湾の高校生が教育旅行で来日

12月8日、台湾の新店高級中学（新北市）の高校生24人が仙北市を訪れました。同校は今回で3度目の訪問となり、年々仙北市との交流が深まっています。

西木温泉クリオンで行われた歓迎式では、なまはげのパフォーマンスなども披露され、生徒たちは大喜び。一緒に記念撮影する光景が見られました。

その後生徒たちは、滞在先の農家民宿へ移動。農家の方々と農作業体験や郷土料理づくりを楽しみながら、日本の文化を学んでいました。



農家民宿ごとにさまざまな体験ができます。写真は、そら豆のさやから種を取り出す作業をしています。

2018 FIS FREESTYLE SKI WORLD CUP
TAZAWAKO・AKITA
Supported by TDK



モーグル
World Cup
秋田 たざわ湖 大会

3/3・4
sat sun



2018 FIS フリースタイルスキー ワールドカップ 秋田 たざわ湖 大会
Supported by TDK
【日程】 3月3日(土) モーグル競技 3月4日(日) デュアルモーグル競技
【会場】 たざわ湖スキー場 黒森山コース 【入場料 無料(一部有料)】
【主催】 国際スキー連盟 (FIS)、(公財)全日本スキー連盟 (SAJ)
【主管】 秋田県、仙北市、秋田県スキー連盟 (SAA)
【問合せ先】 FISフリースタイルスキーワールドカップ秋田たざわ湖大会組織委員会事務局
TEL: 0187-43-3390 FAX: 0187-54-1727
E-mail: akita.tazawako.oc@gmail.com



角館武家屋敷で冬がたり

かくのだて歴史案内人組合(田村雄幸組合長)が岩橋家を会場に毎年開催している「角館冬がたり」が今年も始まりました。この催しは、かくのだて歴史案内人が観光客などを対象に、角館の歴史や冬の暮らしぶり、桜にまつわる話などを語り、冬の風物詩として定着しています。開催初日の12月1日は、首都圏から訪れたという観光客の団体がいろいろを囲みながら歴史案内人の語りに興味深く耳を傾けていました。



冬がたりは3月31日まで行われています。期間中の毎週金土日、祝日等に開催しています。

日本タウン誌・フリーペーパー大賞2017



(株)仙北印刷所の佐藤代表取締役社長(左端)とスタッフの皆さん。

「D-PRESS」が最優秀賞

12月2日、国立科学博物館(東京都)で開催された「日本タウン誌・フリーペーパー大賞2017」の観光部門で、県南地域で配布されているフリーペーパー「D-PRESS」が最優秀賞を受賞しました。「D-PRESS」は(株)仙北印刷所が毎月発行する情報誌で、道の駅や店舗等に備え付けられています。地域の話題などをはじめ、インバウンドを視野に入れ多国語にも対応しています。今回、審査対象になったのは、角館のお祭りを特集した2017年9月号。お祭りのあらしや期間中の見所など、初心者にもわかりやすい解説が特徴的です。佐藤代表取締役社長は「編集で心がけていることは、情報を全部載せないこと。8割程度にとどめ、2割は読んだ方々に興味を持ってもらい、探求していただく要素を含ませている」と話しました。

年末・年始特別警戒出動式

12月11日、仙北警察署で年末年始に多発傾向となる各種犯罪の防止へ向けた特別警戒の出動式が行われました。出動式には富樫司仙北警察署長、橋本左武郎仙北市防犯協会長、市内の防犯関係者などが参加。西明寺防犯巡回隊の藤村恒男副隊長が「住民皆が安全で安心な暮らしを送ることができるように、特別警戒に全力で取り組む」と出動を宣言しました。その後、関係者はパトカーや青色回転灯装備車で市内を巡回しながらスーパーで特殊詐欺への注意を呼びかけるチラシを配布し、市民に警戒を呼びかけました。



スーパーでチラシを配布し、注意を呼びかける防犯協会員たち。

『田沢ながいも』の商品化めざす



『田沢ながいも』を使ったメニューを試食する参加者。

12月18日、田沢地域の伝統野菜「田沢ながいも」を活用した商品開発を進めている仙北市商工会が角館交流センターでメニューの試食会を開催しました。当日は、まんじゅうや羊かん、漬物5種、そばが提供され、会員や生産者、農家民宿の関係者など約50人が試食し、商品化の可能性を探りました。仙北市商工会では、毎年11月頃、田沢ながいもの販売イベントを開催していますが、規格外品をどうにか活用できないかと商品化に取り組んできました。メニューごとに食味や味付けなどの評価をアンケート用紙に記入した参加者からは「そばはのどごしがよく、コシがあって美味しい」「まんじゅうはムカゴの食感が楽しめた」などの感想が聞かれました。